

企業・団体と大学生が協働し、  
持続可能な社会に向けた解決策を大研究!

あいちの「人づくり」プロジェクト!



# かがやけ★ あいちサステイナ研究所



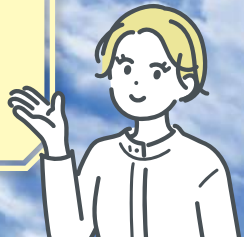
かがやけ★  
あいちサステイナ研究所



かがやけ★  
あいちサステイナ研究所

## かがやけ★ あいちサステイナ研究所とは

未来のあいちの担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、愛知県が立ち上げたプロジェクトです。パートナー企業・団体から提示された環境面での取組に関する課題に対し、研究員である大学生が現場での調査や企業・団体担当者とのディスカッションを実施します。解決策を企業・団体側に提案し、その成果を広くPRします。



パートナー企業・団体



課題提示

解決策提案

かがやけ★  
あいちサステイナ研究所

【所長】

愛知県知事 大村秀章



【研究員】

未来の  
あいちを担う 大学生



活動を  
広く発信!

大学・イベント等での発表  
公式WebページやSNS



twitter

## 2022年度パートナー企業・団体(五十音順)

株式会社 加藤建設  
KATO CONSTRUCTION CO.,LTD.

珈琲館  
コメダ珈琲店

sangetsu

Pasco

TOYOSHIMA  
豊島株式会社

西尾信用金庫

valor Holdings

hoyu  
COLOR YOUR HEART

## 2022年度の活動

6月26日(日)

### 開所式



企業・団体、ファシリテーター、研究員全員で顔合わせ。活動のキックオフ!

7月3日(日)・10日(日)

### 基礎講座



環境問題やSDGsの基礎を学ぶ講座を受講! 昨年度の修了生の貴重な経験談も聴講。

8月~12月

### 企業・団体の 課題研究



チームで企業・団体を訪問。環境取組の現場調査、企業・団体担当者とのディスカッションを実施。

8月~12月

### チーム ミーティング



課題研究後、チーム内で振り返りや企画立案を実施。

10月30日(日)

### 中間発表会



研究成果を中間発表。成果発表会に向けて、発表内容をブラッシュアップ。

12月11日(日) **成果発表会・修了式**

# パートナー企業・団体の環境課題



## 株式会社加藤建設

課題 **「建設業」×「自然」×「〇〇」**  
豊かな自然を守るため、新たなアクションを創造せよ



加藤建設では、自然のために出来ることを社内で話し合う“エコミーティング”により、現場の環境調査や生き物の保護、生息場所の創出など、自然に寄り添った活動につなげています。このエコミーティングを次のステップに進めるため、建設業、自然にもう一つエッセンスを加える“新たなアクション”を創造します。



## 株式会社コメダ

課題 **お客様が心からくつろげる、**  
サステナブルな店舗を企画せよ



コメダは、創業当初より「くつろぐ、いちばんいいところ」を目指して店舗を拡大してきました。座り心地の良いソファや、広いテーブルなどの店舗設備にこだわることはもちろん、フルサービスの接客も、すべてはお客様のくつろぎのため。お客様のくつろぎを損なわず、サステナブルな要素を含めた店舗を企画します。



## 株式会社サンゲツ

課題 **暮らしを彩り、サステナブルな未来の**  
ライフスタイルを促す企画を検討せよ



SDGsやカーボンニュートラルなどの社会課題が注目される中、次の10年、100年で、私たちはどんな暮らしをしているのでしょうか。サンゲツは、インテリアからエクステリアまで人々の暮らしを彩る商品を生み出し、快適な空間を創造しています。そこで、私たちの未来のライフスタイルを快適でサステナブルに彩る企画を検討します。



## 敷島製パン株式会社

課題 **国産小麦の消費を拡大し、**  
食料自給率向上につながる情報発信策を企画せよ



敷島製パンは創業以来、事業を通じた社会貢献を目指しています。近年では国産小麦の使用拡大による食料自給率向上に取り組んでいますが、消費者の食料自給率向上に対する十分な理解が進んでいないことが課題となっています。そこで、食料自給率向上の意義や個人ができる取組への理解を促し、国産小麦の消費拡大につながる情報発信を検討します。



## 豊島株式会社

課題 **繊維業界の大量廃棄を食い止める!**  
余剰在庫を減らしつつ、持続可能なビジネスを検討せよ



ファッション業界では、年間40億枚の新品が供給され、うち半数の20億枚が、新品にも関わらず毎年処分されているといわれています。ファッション業界を起点とする気候変動や水の汚染、ゴミ問題の根本的な原因である「服の作り過ぎ」を減らすには?つくって売るといって従来モデルの代わりとなる、新たなビジネスについて考えます。



## 西尾信用金庫

課題 **信用金庫の取引先が手軽に、**  
カーボンニュートラルに取り組める企画を検討せよ



西尾信用金庫は、西三河地域を基盤とする信用金庫です。SDGsが掲げる「持続可能社会の実現」は、地域との連携、協働に取り組む信用金庫の命題でもあり、地域の一人ひとりが共に取り組むことが重要と考えます。そこで、昨今注目されるカーボンニュートラルにおいても、地域が連携することで中小・零細企業が手軽に取り組め、CO<sub>2</sub>削減効果を実感できる企画を検討します。



## 株式会社 バローホールディングス

課題 **バローグループの店舗ネットワークを活用した、**  
愛知県民を巻き込むフードロス削減策を提案せよ



バローグループは“サステナビリティ・ビジョン2030”を掲げ、持続可能な社会の実現に向けた全員運動を展開しています。重点課題である“フードロス削減”は、食品廃棄の削減や支援を必要とされる方への流通方法、普及啓発など、取り組むべき課題は多岐にわたります。そこで、愛知県下250を超える店舗ネットワークを活用して、地域の皆様を巻き込んだ新たなフードロス削減策を検討します。



## ホーユー株式会社

課題 **サステナブルな未来に向けて、**  
ホーユーが貢献できる商品やサービスを検討せよ



ホーユーは、「いつまでも、美しく、健康でありたい」という人々の想いに寄り添い、追求し続けています。ヘアカラーを軸とした頭髮関連商品を通じて、「美」「活力」「心の豊かさ」を提供するとともにCO<sub>2</sub>排出量削減や4R推進に取り組み、地球環境の保全にも努めています。そこで、人々をイキイキ、ワクワクさせ、サステナブルな未来に貢献する商品やサービスを検討します。

課題  
ISSUE

# 「建設業」×「自然」×「〇〇」 豊かな自然を守るため、新たなアクションを創造せよ

加藤建設では、自然のために出来ることを社内で話し合う“エコミーティング”により、現場の環境調査や生き物の保護、生息場所の創出など、自然に寄り添った活動につなげています。このエコミーティングを次のステップに進めるため、建設業、自然にもう一つエッセンスを加える“新たなアクション”を創造します。

解決策  
SOLUTION

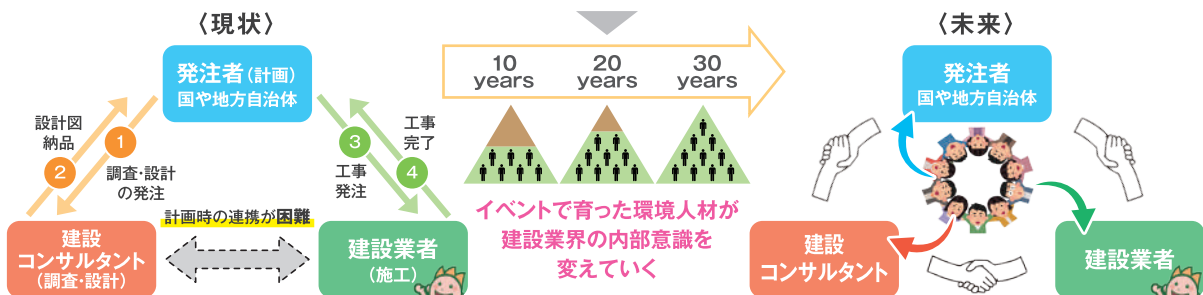
# 「建設業」×「自然」×「静かなる革命」 ～自然環境保全が『当たり前』の建設業界に～

課題解決の方向性  
【考え方】

建設業は、自然に手を加える仕事ですが、自然に配慮した取組が標準化していません。それは、建設業界の各業種がそれぞれ独立した体制であることも一つの要因であると考えられます。建設現場で自然環境保全を『当たり前』にするため、多彩な講師陣をゲストに迎える学生主体の交流イベントによって、建設業界の様々なポジションにおいて未来を担う環境人材を育み、創出します。

＼ 未来のために!! /

## 多彩な講師陣をゲストに迎える学生主体の交流イベント開催



- それぞれが独立した体制のため、連携をして計画することが少ない。
- 建設業界の構造が縦割りなので変革が進みにくい。
- 担い手が不足している。

### 静かなる革命

- イベントにより育まれた環境人材が様々な業種に進み、建設業の自然環境への取組を『当たり前』(スタンダード化)にする。
- 環境意識の高い人材が建設業界に入職することで担い手不足が解消する。

持続可能な  
社会への  
ポイント

- 「自然を守る建設業」に関心を持つ若者が増え、建設工事に関わる職種に就職する。  
→「建設業は自然環境保全を行うのが当たり前である」と考える若者が増え、業界の意識を変えていく。  
→自然環境保全を行う建設業界が、ヒトと地球にやさしいまちづくりに貢献する。
- 若者が様々なゲストを招くイベントを開催することで、新しいつながりが生まれ、持続可能なまちづくりをデザインする建設業界のネットワークが広がる。
- 環境意識の高い人材が建設業界に入職することで人材不足が解消し、持続可能になる。



研究員  
メッセージ  
MESSAGE

チーム加藤建設には、自然や生き物が大好きなメンバーが集まっています。今回のプロジェクトを通して、自然環境保全へのアプローチ方法の一つとして「建設業×自然」を学びました。今までの私たちにはなかった自然との関わり方や、私たちが楽しく学んだ「建設業×自然」の面白さを多くの学生に伝えたいと思います。自然環境も建設業によるインフラ整備も私たちの生活には欠かせないものです。私たちと一緒に「建設業×自然」について考えてみませんか？

チーム・加藤建設

愛知教育大学 3年 吉岡恋 椋山女学園大学 2年 飯坂温子  
大同大学 2年 加々美薫 三重大学 1年 杉浦慧  
名城大学 1年 荒川良寛

ファシリテーター

一般社団法人SDGsコミュニティ 代表理事 新海洋子



課題  
ISSUE

## お客様が心からくつろげる、 サステナブルな店舗を企画せよ

コメダは、創業当初より「くつろぐ、いちばんいいところ」を目指して店舗を拡大してきました。座り心地の良いソファーや、広いテーブルなどの店舗設備にこだわることはもちろん、フルサービスの接客も、全てはお客様のくつろぎのため。お客様のくつろぎを損なわず、サステナブルな要素を含めた店舗を企画します。

解決策  
SOLUTION

## 地域資源に光を当てることで地域の活性化を促進する店舗 — 新たな市場を開拓する —

課題解決の方向性  
【考え方】

人口減少の著しい地域の空き家を活用して、地元の食材・景色とコメダのくつろぎを武器に、観光やワーケーションで新しいコメダの価値を提案し、地域活性化を促す。



空き家を活かした新たなコメダの店舗



持続可能な  
社会への  
ポイント

- コメダと過疎化している地域が連携・協働し、コメダが新たな市場を開拓しながら地域の課題を解決していく。
- 新たな資源を作り出すことから始める課題解決ではなく、両者が既に持つ資源をうまく活用して解決するため、無理なく始め、継続していくことができる。
- さらには他の地域に応用し店舗を展開していくことも可能である。



研究員  
メッセージ  
MESSAGE

私たちはこれまでくつろぎとは何か、サステナブルな店舗とはどんな店舗かについて議論してきました。コメダの「強み」がくつろぎであることを確信しましたが、このまま地球温暖化が進むと今ある「くつろぎ」を持続させることは困難であると考えました。だからこそ、社会にも目を向けることでコメダと地域が互いの強みで補い合いながらコメダだけではなく社会全体が持続可能な形になれることを目指します。

チーム・コメダ

南山大学 2年 豊田愛子 日本福祉大学 3年 仲田暁  
大同大学 2年 小島颯太 愛知教育大学 1年 中易美月  
星城大学 3年 DINH THI HUYNH MAI

ファシリテーター

NPO法人アスクネット 顧問 白上昌子



課題  
ISSUE

## 暮らしを彩り、サステナブルな未来の ライフスタイルを促す企画を検討せよ

SDGsやカーボンニュートラルなどの社会課題が注目される中、次の10年、100年で、私たちはどんな暮らしをしているのでしょうか。サンゲツは、インテリアからエクステリアまで人々の暮らしを彩る商品を生み出し、快適な空間を創造しています。そこで、私たちの未来のライフスタイルを快適でサステナブルに彩る企画を検討します。

解決策  
SOLUTION

## 「ビリビリンピック&エコフォトフレームづくり」 ～サンゲツ見本帳を使ったリサイクルイベント～

課題解決の方向性  
[考え方]

見本帳のリサイクル体験を楽しみながら行い、人々の暮らしとマインドをサステナブルに彩るイベントを企画した。

サンゲツの見本帳とは？

お客様が商品選択の際に色味や質感を確かめるため、カーテンや壁紙など商品サンプルを貼ったもの。お客様のニーズが高く、数十年先の未来でも見本帳がなくなることはない。

見本帳の実情

見本帳が2、3年ごとに改訂されるなか、古い見本帳のほとんどが単純埋立かサーマル処理にとどまっている。

サンゲツ見本帳リサイクルセンター

見本帳1冊の中には紙だけでなく、塩化ビニルやプラスチックが使われており、素材別に分解する必要があるため、2021年3月に見本帳リサイクルセンターを開設。

課題

見本帳リサイクルに対する業界・消費者の認知度が低い  
マテリアルリサイクルの仕組みを各業界に広める

解決方法

サンゲツ見本帳 リサイクルイベント



ビリビリンピック

見本帳リサイクルを競技化!  
商品のサンプルを1分間に  
どれだけはがせるか!?  
楽しく取り組みながら素材の  
分別に貢献できる!

エコフォトフレームづくり

はがした見本帳のサンプルで  
フォトフレームをデザイン!  
リサイクルを体験したことが  
フォトフレームとなって思い出に残る!  
完成品をおうちに飾ることで暮らしを彩る!



持続可能な  
社会への  
ポイント

- イベントを継続することで、業界初である「見本帳リサイクル」の取組の認知度を上げ、業界内のサステナブルな意識を高める。
- 見本帳リサイクルを楽しく体験する機会を提供し、参加者（消費者）の環境意識を高める。
- リサイクル体験の思い出を形に残し、インテリアとして未来のライフスタイルを彩る。



研究員  
メッセージ  
MESSAGE

デジタルなものが増えていく社会の中で、五感を使って商品を選ぶことのできる見本帳はこれからも欠かせないものです。しかし同時に、環境負荷が大きいということも学びました。これからの社会は利便性だけでなく、環境に配慮しながら生活していくことが求められます。そのためには、既存の枠組みだけにとらわれず、新たなアイデアを出し解決することが大切です。私たちはアイデアを出すためにこれからも様々な経験をし、継続的に学び続けます。

チーム・サンゲツ

愛知教育大学 4年 伊吹明親  
中部大学 3年 伊藤夕叶  
金城学院大学 2年 林英凜  
南山大学 3年 池田遥香

ファシリテーター

ピオトープ・ネットワーク中部 会長 長谷川明子



課題  
ISSUE

## 国産小麦の消費を拡大し、 食料自給率向上につながる情報発信策を企画せよ

数島製パンは創業以来、事業を通じた社会貢献を目指しています。近年では国産小麦の使用拡大による食料自給率向上に取り組んでいますが、消費者の食料自給率向上に対する十分な理解が進んでいないことが課題となっています。そこで、食料自給率向上の意義や個人ができる取組への理解を促し、国産小麦の消費拡大につながる情報発信を検討します。

解決策  
SOLUTION

## 食べると知識が増える!? QRコードの焼印が押されたPascoの国産小麦パン!

課題解決の方向性  
【考え方】

国民の半数以上が食料自給率の内容を知りません。課題の解決のために、私たちはまず、国産小麦と食料自給率の問題について広く知ってもらうことが重要であると考えました。Pascoの国産小麦パンを活用した革新的な情報発信策を提案します。

### QRコードパンとは

QRコードが付いたパンは誰もが読み取ってみたいと思うのではないかと考えたのちに思いついた情報発信策です。



パンのQRコードを読み取ると…



#### QRコードの先のしかけを見た人は

小麦農家が話す動画で**興味を持つ**

国産小麦、食料自給率に関する推定データで**理解する**

国産小麦、食料自給率に関するクイズで**考える**

身近な国産小麦商品一覧で**行動する**

+α  
食パンにカメラをかざすと読める絵本で**楽しむ!!**

≡ QRコードから始める社会貢献! ≡

持続可能な  
社会への  
ポイント

- QRコードパンを通して国産小麦、食料自給率の問題への興味、関心を高め、持続可能な社会の実現に貢献する。
- 食料自給率の現状を知り理解を促すことで、問題に対して自発的に行動するためのきっかけとなる。
- 一人一人が手を取り合い協力することで、社会全体で目標達成に取り組むことができる。



研究員  
メッセージ  
MESSAGE

私たちは今回の活動を通して、国産小麦や食料自給率の現状を知るだけでなく、その問題の背景や影響など多くのことを学びました。そして、世間の食料自給率への危機感の低さを実感し、今回の提案を考えました。私たちの提案が、国産小麦や食料自給率の問題を深く「知る」きっかけとなり、一人一人が自ら考え「行動する」ことにつながることを期待しています。

- チーム・Pasco 中部大学 3年 浅野貴博 愛知淑徳大学 3年 田中美妃  
南山大学 2年 中彩乃 名古屋市立大学 1年 高瀬凜  
人間環境大学 1年 鈴木健史
- ファシリテーター 愛知淑徳大学 コミュニティ・コラボレーションセンター(CCC) 秋田有加里



**課題**  
ISSUE

## 繊維業界の大量廃棄を食い止める! 余剰在庫を減らしつつ、持続可能なビジネスを検討せよ

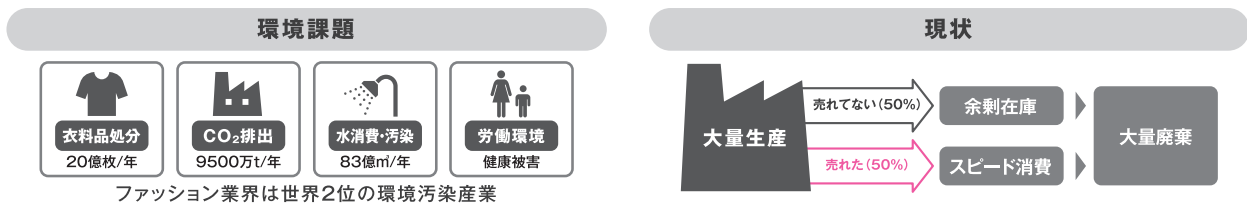
ファッション業界では、年間40億枚の新品が供給され、うち半数の20億枚が、新品にも関わらず毎年処分されているといわれています。ファッション業界を起点とする気候変動や水の汚染、ゴミ問題の根本的な原因である「服のつくり過ぎ」を減らすには？ つくって売るといった従来モデルの代わりとなる、新たなビジネスについて考えます。

**解決策**  
SOLUTION

## 「つくられたものを買う」から 「買ってからつくる」文化へ

**課題解決の方向性**  
【考え方】

現在のファッション業界の在り方である「大量生産・大量廃棄」を脱却する新しい販売システムを構築。ファッション業界の環境負荷を減らしつつ、多様な価値観を踏まえ、誰でも簡単に服をデザインできる体験価値を提供するビジネスを提案します。



**解決案**

### “自分で作る”新たなファッション文化



**体験価値**

自分らしさを追求できる新たな体験価値を生み出すことで、長く愛着を持って服を着続けることができる。

**これからの店舗のかたち**

服の在庫を持たず、素材サンプルや服の修繕の確認ができる実店舗を設ける。さらにデジタル技術を使って、一人一人に合った情報を提供する。

豊島が  
先駆けとなり  
地球の資源を  
大切に作る未来へ

**持続可能な  
社会への  
ポイント**

- 受注生産を行うことでファッション業界のCO<sub>2</sub>排出や水質汚染を低減できる。
- 自分で服を作ることでより愛着を持って着続けることができ、大量消費・大量廃棄の流れを止めることができる。
- 服を買う行動に体験価値を掛け合わせて、これからの店舗のかたちを豊島が提案することで誰もがワクワクを創造できる。



**研究員  
メッセージ**  
MESSAGE

課題研究を進めていく中で、ファッション業界が抱えている環境問題の規模の大きさを実感しました。このプランによって、企業の販売形式と消費者の意識を変えることで、地球の資源を大切に作る未来をつくります。



チーム・豊島

愛知工業大学 3年 斎藤聖矢 名古屋経済大学 2年 土本澤  
星城大学 3年 川上莉子 南山大学 3年 鬼頭里奈  
桐山女子学園大学 3年 鳥居ひな子

ファシリテーター

フィトラボ代表(環境カウンセラー) 松本イズミ



課題  
ISSUE

## 信用金庫の取引先が手軽に カーボンニュートラルに取り組める企画を検討せよ

西尾信用金庫は、西三河地域を基盤とする信用金庫です。SDGsが掲げる「持続可能社会の実現」は、地域との連携、協働に取り組む信用金庫の命題でもあり、地域の一人ひとりが共に取り組むことが重要と考えます。そこで、昨今注目されるカーボンニュートラルにおいても、地域が連携することで中小・零細企業が手軽に取り組め、CO<sub>2</sub>削減効果を実感できる企画を検討します。

解決策  
SOLUTION

## にし測ポイントアプリ ～みんなで考えるカーボンニュートラル～

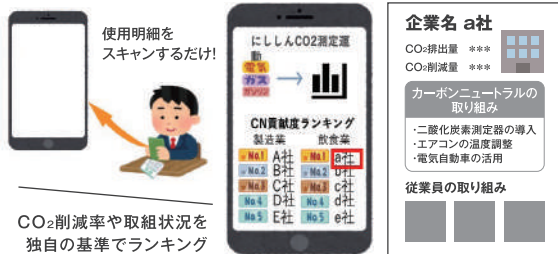
課題解決の方向性  
【考え方】

カーボンニュートラルの取組について、西尾信用金庫が中小・零細企業を対象に行ったアンケートによると「何から始めるべきか」と初めの一歩が踏み出しにくいという結果であった。そうした企業に向けて、参加する企業の間で取組内容を共有しながら、手軽にカーボンニュートラルの実現に向けた行動を始められるアプリを企画した。これにポイント機能を加えて取組を継続しやすいように工夫した。

### 「にし測ポイントアプリ」の仕組み

① 自社のCO<sub>2</sub>排出量や削減の取組を簡単に可視化!

- ・企業担当者が毎月の電力や燃料の使用明細をスマホでスキャン
- ・カーボンニュートラルへの取組を入力



- ・CO<sub>2</sub>排出量の月別推移を把握
- ・他社の取組を知ることができる
- ・自社の取組をPRすることができる

② ランキング上位やアプリのログインでポイント獲得!

- ・獲得したポイントは地域の商店等で使える



西尾市の企業が一体となって  
カーボンニュートラルに取り組む未来へ

持続可能な  
社会への  
ポイント

- 中小・零細企業が手軽にCO<sub>2</sub>削減の取組を発信。カーボンニュートラルへ貢献する。
- 産業が盛んな西尾市が、CO<sub>2</sub>排出量を抑えることで、持続可能な産業の構築に貢献する。
- 持続可能な地域経済は西尾信用金庫の発展につながる。



研究員  
メッセージ  
MESSAGE

企画の立案から発表まで非常に貴重な経験をさせていただきました。活動を行っていく中で、現状の環境問題の深刻さに気づくことができ、それに対する意識がより一層向上しました。私たちが提案した企画が、西尾市内のカーボンニュートラル実現への後押しになれば幸いです。

チーム・にししん

金城学院大学 3年 杉野伽蓮 椋山女学園大学 1年 山岸日奈子  
中部大学 3年 北川稜 名古屋大学 2年 大野ちひろ

ファシリテーター

アルト・ファシリテート代表 葛原祐季



課題  
ISSUE

## バローグループの店舗ネットワークを活用した 愛知県民を巻き込むフードロス削減策を提案せよ

バローグループは“サステナビリティ・ビジョン2030”を掲げ、持続可能な社会の実現に向けた全員運動を展開しています。重点課題である“フードロス削減”は、食品廃棄の削減や支援を必要とされる方への流通方法、普及啓発など、取り組むべき課題は多岐にわたります。そこで、愛知県下250を超える店舗ネットワークを活用して、地域の皆様を巻き込んだ新たなフードロス削減策を検討します。

解決策  
SOLUTION

## おもいやりをポストに バロー「ネットでフードドライブ」

課題解決の方向性  
【考え方】

家庭で眠っている食品に着目し、バローが実施しているフードドライブ「あまった食品を集め寄付する仕組み」を生かし、地元の人が自ら貢献できる機会とほしい人をつなぐオンラインサービスを検討した。

### 食品を集める+食品を配布する

#### フードドライブポスト

家庭で眠っている食品  
(賞味期限が1か月以上)を  
ポストに入れていただく。

現在

地域の企業や団体の協力のもと  
支援が必要な方にお届け。  
イベントなどで不定期に。

これから

地域の住民が主体となり  
食べ物をほしい方にお届け。  
全店舗に常設させる。

## STEP1

食品を入れた人と  
ほしい人をつなげる

#### 〈食品を入れた人〉

- 1 フードドライブポストに入れる
- 2 食品の写真を撮る
- 3 ほしい人に向けてのメッセージ

Webに投稿される



#### 〈ほしい人〉

- 4 Webで選び店舗で受け取る
- 5 その食品のメッセージを見る = あたかざ
- 6 店舗にて感謝のメッセージを書く

## STEP2

食品を持ってきて  
もらう機会を増やす

- 1 店舗の駐車場でイベントを開催  
→ 来場者に家庭で眠っている食品を持ってきてもらう。
- 2 中高生向けのイベントで若者にも啓発  
→ 学生にも食品を集めてもらえる  
フードロスに関心を持つ学生が増える

持続可能な  
社会への  
ポイント

- 家庭で眠っている食べ物がほしい人の手に渡る。
- イベントを開催することで、地域の活性化につながる。
- フードロス、フードドライブの啓発ができる。
- インターネット上でメッセージのやりとりをすることで、みんなが食べ物の大切さを知ることができる。



研究員  
メッセージ  
MESSAGE

私たちはバローとの対話を通して、廃棄される食品の多さに驚き、食品ロス削減に向けた活動を広める必要があると考えました。この解決策によって地元の人が日常的に食品ロス削減に参加するようになり、限りある資源を大切にできる未来になることを期待します。

チーム・バロー  
金城学院大学 3年 余語愛郁  
愛知学院大学 2年 櫻井愛詩  
椋山女学園大学 1年 林祐月

星城大学 3年 鈴木悠南  
南山大学 1年 中島梨湖

ファシリテーター 認定NPO法人中部リサイクル運動市民の会 副代表理事 和喜田恵介



課題  
ISSUE

## サステナブルな未来に向けて、 ホーユーが貢献できる商品やサービスを検討せよ

ホーユーは、「いつまでも、美しく、健康でありたい」という人々の想いに寄り添い、追求し続けています。ヘアカラーを軸とした頭髮関連商品を通じて、「美」「活力」「心の豊かさ」を提供するとともにCO<sub>2</sub>排出量削減や4R推進に取り組み、地球環境の保全にも努めています。そこで、人々をイキイキ、ワクワクさせ、サステナブルな未来に貢献する商品やサービスを検討します。

解決策  
SOLUTION

## 100年の思いをfor you ～染めることの楽しさで彩り豊かな未来を創る～

課題解決の方向性  
【考え方】

2023年3月に100周年を迎えるhoyuが設立したヘアカラーミュージアムを活かして、全ての人が髪的美と健康を守る為に、サステナブルな未来を担っていく私たちと同世代の若者に焦点をあて、hoyuがお手伝いできる方法を検討した。

染める不安を解消する  
ワークショップの開催

大学生の私たちと同世代の若者が自染めに踏み出す第一歩に寄り添うワークショップを提案する。

hoyuが美容師や  
カラーリストによる  
パーソナルカラー診断を行い、  
染め方、染まり方の説明をすることで、  
自分で染める時の不安要素を減らし、  
楽しんでヘアカラーが  
できる事を伝える。

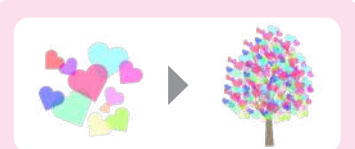
ファーストカラーの贈呈

カラーの記録などができるファーストカラーカードと商品と一緒に贈呈する。  
贈呈する商品はSDGsの項目とhoyuの取組を紹介した限定パッケージにすることで、SDGsをさらに身近に捉えてもらうようにする。



緑豊かでサステナブルな未来

パッケージにはQRコードも印字しておき、ファーストカラー体験をレビューしてもらうごとに、レビューがカラフルなハートの葉1枚となって画面に表示される仕組みにする。100人のレビューが溜まるとハートの木となり、hoyuが実際に植樹する。



未来の地球を  
イキイキとしたものに☆

持続可能な  
社会への  
ポイント

- 若者への認知を高めるとともにヘアカラーによって多様性を表現し、個性が輝く未来を創造する。
- 若い世代がサステナブルな商品を使ってヘアカラーをすることに意識を持つことで、SDGsへの関心に繋がる。
- 一人一人のファーストカラー「体験」で緑を増やし、環境保全に繋げる。



研究員  
メッセージ  
MESSAGE

今回この活動を行う中で、hoyuの目指す未来にサステナブルな視点を組み合わせることに苦労しました。その中で、今後を担っていく若者へのSDGs意識の向上を図るとともに、hoyuだからこそやれることを考えました。ヘアカラーを手軽に行うことができれば、今の世代から未来の世代までの心を彩り豊かにするとともに、地球までもイキイキとしたものにできると考えています。

チーム・ホーユー

愛知工業大学 2年 小林侑馬 星城大学 3年 彭恵楯  
中部大学 3年 伊藤未来哉 南山大学 2年 中立綾乃  
名城大学 2年 角尾風香

ファシリテーター

le-puro 清水君代



# これまでに参加いただいた研究員所属大学及びパートナー企業・団体

研究員所属大学(27大学)	No	パートナー企業・団体 (参画当時の企業・団体名を使用)	年度	No	パートナー企業・団体 (参画当時の企業・団体名を使用)	年度
愛知大学、愛知学院大学、 愛知教育大学、愛知県立 大学、愛知工業大学、愛知 淑徳大学、金城学院大学、 椋山女学園大学、星城 大学、大同大学、中京大学、 中部大学、東海学園大学、 名古屋大学、名古屋学院 大学、名古屋学芸大学、 名古屋経済大学、名古屋 工業大学、名古屋産業 大学、名古屋商科大学、 名古屋女子大学、名古屋 市立大学、南山大学、日本 福祉大学、人間環境大学、 三重大学、名城大学	1	アイシン精機(株)	2015・2016	20	東邦ガス(株)	2015・2016
	2	イケア・ジャパン(株)IKEA長久手	2017・2018	21	東レ(株)	2019・2020
	3	(株)伊藤園	2018・2019	22	凸版印刷(株)	2019・2020
	4	花王(株)	2018・2019	23	豊島(株)	2021・2022
	5	(株)加藤建設	2022	24	トヨタ車体(株)	2018・2019
	6	(株)コメダ	2021・2022	25	中日本高速道路(株)	2018・2019
	7	(株)サーラコーポレーション	2020・2021	26	(株)ナゴヤキャッスル	2016・2017
	8	(株)サンゲツ	2022	27	西尾信用金庫	2022
	9	JAグループ愛知	2017・2018	28	日本ガイシ(株)	2020・2021
	10	敷島製パン(株)	2022	29	(株)パローホールディングス	2022
	11	新日鐵住金(株)名古屋製鐵所	2017・2018	30	ホーユー(株)	2021・2022
	12	スターバックスコーヒージャパン(株)	2017・2018	31	(株)三井住友銀行	2015・2016
	13	積水ハウス(株)	2018・2019	32	三井不動産商業マネジメント(株) ららぽーと名古屋みなとアクルス	2019・2020
	14	ソニーグローバルマニュファクチャリング& オペレーションズ(株) <sup>※1</sup>	2015・2016	33	(株)Mizkan Partners	2016・2017
	15	中京テレビ放送(株)	2020・2021	34	(株)三菱東京UFJ銀行	2016・2017
	16	中部国際空港(株)	2016・2017	35	名鉄観光サービス(株)	2016・2017
	17	中部テレコミュニケーション(株)	2020・2021	36	(株)メニコン	2019・2020
	18	(株)デンソー	2017・2018	37	ユニー(株) <sup>※2</sup>	2015・2016
	19	東京海上日動火災保険(株)	2019・2020	38	吉本興業(株)	2020・2021

※1:2015年度はソニーイーエムシーエス様 ※2:2015年度はユニーグループ・ホールディングス様

研究所の活動を  
ご覧いただけます



公式Webページ

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/sustaina-ken.html>



公式Twitter

@kagayake\_aichi

## 持続可能な開発目標(SDGs)とは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。愛知県は2019年7月に内閣府から「SDGs未来都市」に選定され、SDGsの取組を積極的に推進しています。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

